

# 有限会社 さくらじま<sup>しゅんさいかん</sup>旬彩館

(鹿児島県 鹿児島市)

## かわいい桜島小みかんを丸ごとお菓子に仕上げた「小みかんグラッセ」

### ◇活動の経緯、内容

旧桜島町の生活改善グループを母体に起業した有限会社法人である。

火山灰の被害で商品価値のなくなった柑橘類を使って、自家用の共同加工を始めたことが発端であり、以後、特産加工品として販売するための研究・試作を重ねた。平成5年にドレッシングやジュースなどの商品化に成功、平成7年には活動拠点となる農産加工施設「さくらじま旬彩館」が建設され、本格的な商品づくりが始められた。



加工原料の桜島小みかんは、その使用量の半分をメンバーが供給、残りの半分も地元農家からの調達で、栽培面積が減りつつある特産小みかんの維持とPRに貢献してきた。

平成12年には都市農村交流施設「火の島めぐみ館」が完成、加工品の常設販売を開始するとともに、施設内のレストラン運営にも参画した。

より自立した組織運営を目指して平成16年に法人化し、それにより労務管理面や経営管理面が充実、地域に根差した一企業として新たな展開が始まったといえる。

### ◇代表作品の紹介

#### 小みかんグラッセ：

桜島小みかんを原型のまま丸ごと使用していることが最大の特徴である。開発当初は、皮ごと加工するため苦味が残ることが難点であったが、数年に及ぶ試行錯誤の結果、ほのかな苦味と食べやすさを出すことに成功し、平成12年に商品化された。

グラッセ以外にも、ジャムやピール、ふくれ(菓子)など、桜島小みかんにこだわった商品開発を行っており、加工品の売上げのほとんどを小みかん関連商品が占めている。

